

棚卸くんの活用例

1, マスターデータを修正する

①パソコンとスマートフォンとケーブルで接続します。

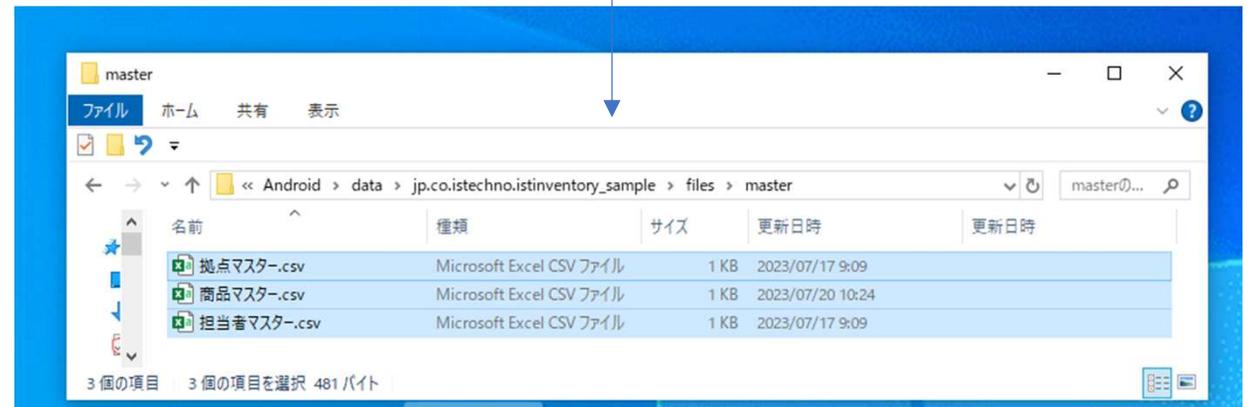
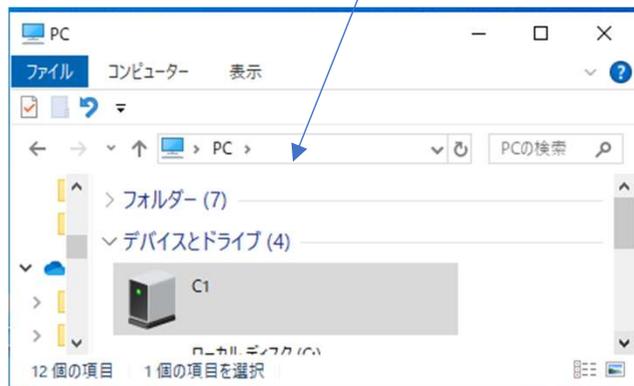


②スマートフォン側の「USBの設定」で、「ファイルの転送」を選択します。
選択後、PC画面の「エクスプローラー」→「PC」→「デバイスとドライブ」に、使用しているスマートフォンが表示されます。



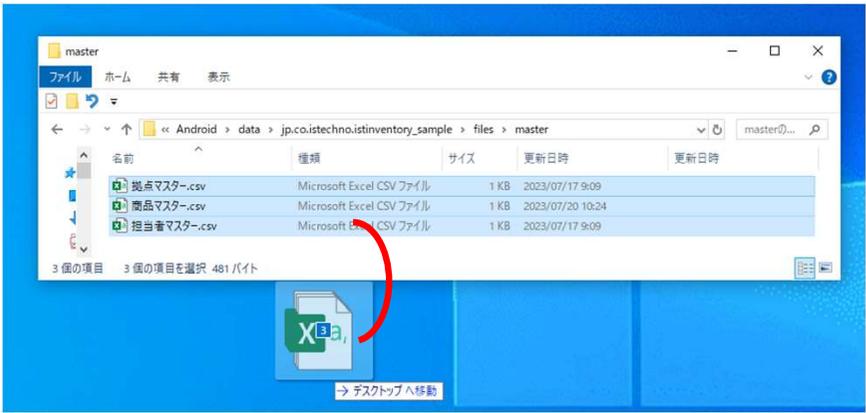
③棚卸くん【体験版】の場合

「スマホ名」→「内部共有ストレージ」→
「Android」→「data」→「jp.co.istechno.istinventory_sample」→「files」→「master」に、「拠点マスター.csv」「商品マスター.csv」「担当者マスター.csv」があります。



棚卸くんの活用例

④修正するマスターをPC側にコピーします。



⑤PC側にコピー後、修正するマスタを「メモ帳」などで開きます。マスター修正は「メモ帳」での修正をおすすめいたします。



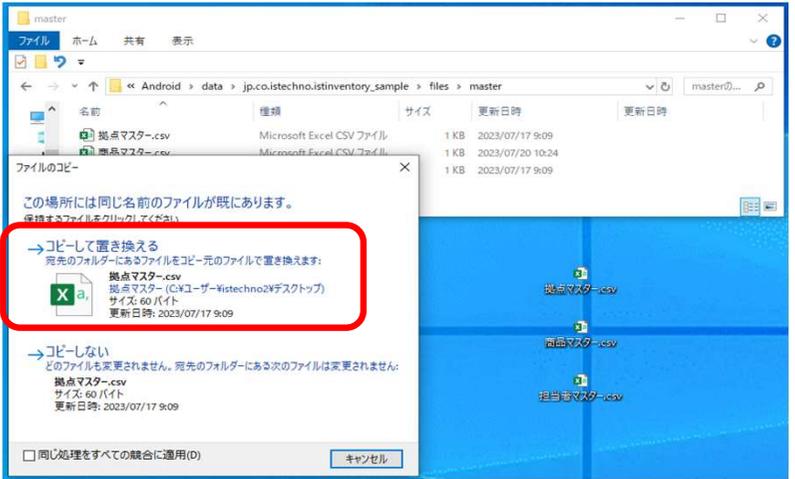
⑥メモ帳で開いたら、マスターデータを修正、追加をします。



- ダブルクォーテーションの中を修正します。
ダブルクォーテーションを削除するとエラーになります。
"0123456789012", "商品A", "120g", "分類A", "250"
- 新規で追加する場合も、同様の書き方で追加します。
例) **"12312345123456", "Tシャツ", "LL", "分類A", "555"**

棚卸くんの活用例

⑦ マスターデータ修正後、アプリの内部ストレージに修正したcsvデータをコピーします。



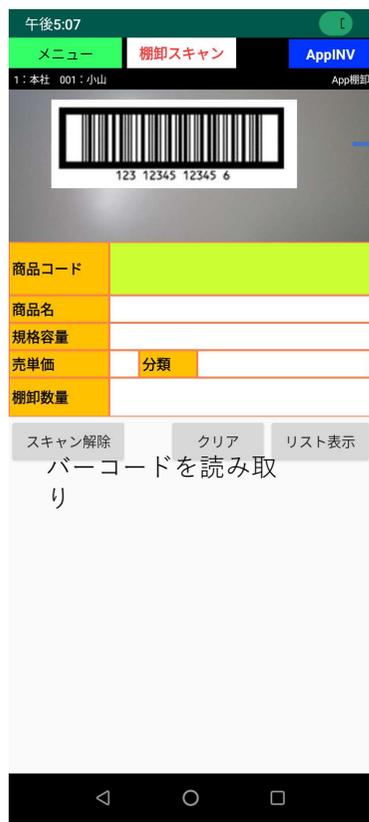
⑧ 棚卸くんを起動し、「マスター更新」をしてからログインすると修正したデータが反映されます。



棚卸くんの活用例

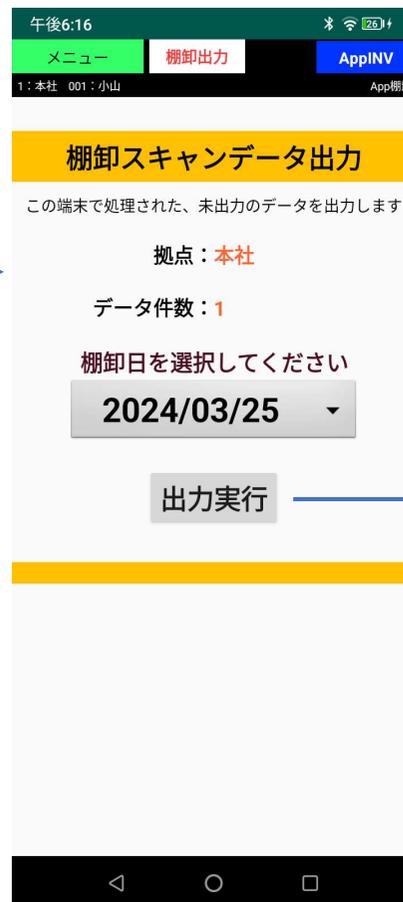
2, 棚卸の流れ

- ①ログイン後【◆棚卸入力（スキャン）】をタップ
- ②棚卸画面で【スキャン】をタップでカメラが起動します。
- ③製品のバーコードをスキャンします。
- ④スキャン後、棚卸数量をテンキーで入力し【登録】ボタンをタップで完了です。



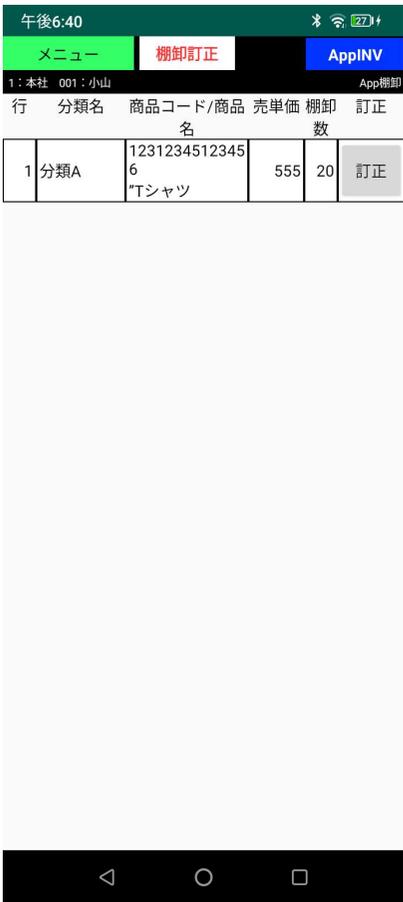
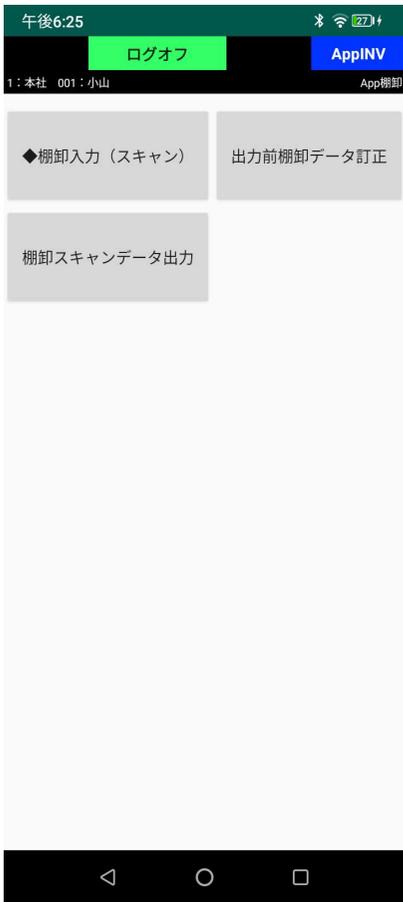
3, 棚卸データの出力

- ①【棚卸スキャンデータ出力】をタップでスキャンデータ出力画面が表示されます。
- ②棚卸日を設定し【出力実行】をタップで出力完了です。



4, 棚卸データの修正

- ①【出力前棚卸データ修正】をタップでスキャンデータ一覧画面が表示されます。
- ②修正する棚卸データの【訂正】をタップで訂正画面が表示されます。
- ③訂正画面では、【棚卸データの消去】又は【棚卸数量の修正】ができます。
修正後、【登録】をタップで完了です。

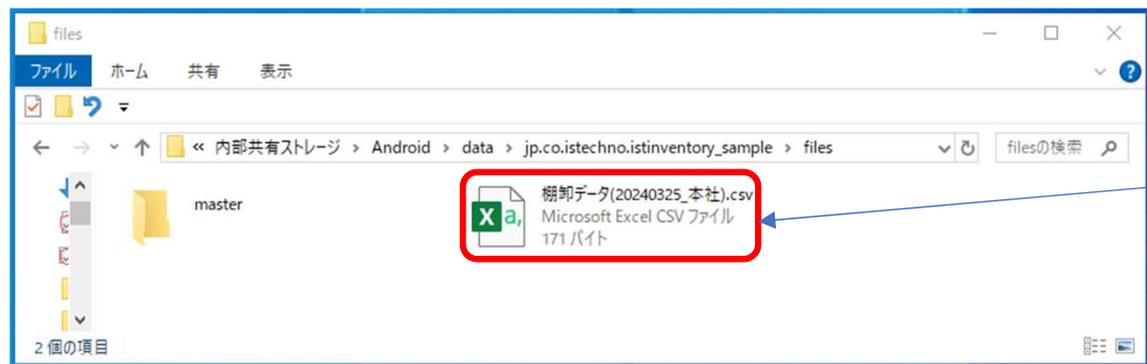


棚卸くんの活用例

5, 棚卸データをPCに保存

棚卸出力データは、棚卸くん【体験版】の場合

「スマホ名」→「内部共有ストレージ」→「Android」→「data」→「jp.co.istechno.istinventory_sample」→「files」に保存されます。



棚卸データをPC側にコピーし、棚卸データをご活用ください。

棚卸データ →

The screenshot shows an Excel spreadsheet titled '棚卸データ(20240325_本社).csv'. The data is as follows:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	連番	登録日時	拠点ID	拠点名	担当者ID	担当者名	商品コード	商品名	規格	売単価	分類	棚卸数量	
2	1	2024/3/25 18:15	1	本社	1	小山	1.23123E+13	Tシャツ	LL	555	分類A	20	
3													

Below the spreadsheet, a Notepad window shows the raw CSV data:

```
連番,登録日時,拠点ID,拠点名,担当者ID,担当者名,商品コード,商品名,規格,売単価,分類,棚卸数量  
1,2024/03/25 18:15:30,1,本社,001,小山,12312345123456,"Tシャツ,LL,555,分類A,20
```